

毛無山&足和田山山行報告

【山行日】2020年 10/31(土)~11/1(日)

【集合】岩舟町役場P AM 4:00

【費用】マイカー2台 : 11,500円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、石澤、島田、
清水か、関、鶴見、福島、藤原、渡辺

【コースタイム】31日 : 岩舟町役場P4:00=
麓登山口 P6:30/6:50~不動の滝見晴台 7:30~
五合目 8:20~稜線分岐 10:10~毛無山 10:25~
毛無山最高点 10:40/10:50~毛無山 11:00/11:40
~五合目 12:00~麓登山口 P13:25/13:35~道の
駅「朝霧高原 13:45/14:45=カトリア荘 15:30



31日 快晴 麓登山口から毛無山&毛無山最高点をピストンで登りカトリア荘へ

今年の5月に計画したがコロナの影響で中止を余儀なくされ、紅葉の時期に再度計画した。

1日目は2百名山の毛無山に登る計画し、朝霧高原にある麓登山口駐車場に向かった。



岩船支所を4時に出発し圏央道から中央道を進み、河口湖ICで降りて国道139号線を西に進む。朝霧グリーンパーク入口を右折し、突き当たったT字路を右に50m進んだ所の公衆トイレに寄りトイレを済ませる。Uターンして直進すると麓登山口の駐車場に着く。すでに数台車が止まっていたが、入口近くに駐車し出発の準備を整える。ストレッチを行い、駐車料金を所定の封筒に入れ料金箱に投入したら出発する。

駐車場の先の大きな案内板があるところが登山

口で、植林帯の中の砂利道を標識に従って進み、金山沢左岸に出た所で涸れた支沢を渡る。

ここからは傾斜も増し、本格的な登山道を登るようになる。杉の植林帯を少し登ると、左に地藏峠コ

ースを分けて直進する。さらに一登りして杉林

を抜けると、「毛無山一合目」の標識がある。

合目表示は、山頂を十合目としてほぼ100m

間隔で立っており、山頂への目安となりありが

たい。アセビなどが多い自然林を登るようになり、

傾斜がきつい露岩帯を登るようになる。

一旦傾斜が緩んで二合目の標識を過ぎると、

再び尾根上に出て不動ノ滝見晴台に着く。

不動ノ滝は対岸に二段に分かれて流下し、周

りの紅葉に彩られてとても美しい。ここから再

び急登にあえぐようになり、四合目を過ぎヘリによるレスキューポイントを経て五合目に着く。



休憩してリンゴや菓子を食べて、エネルギーを補給する。ここから2班に分かれて登り、のんびり組の



3人は後からゆっくり登ることにした。露岩の急登が続き、振り返ると富士山が見えるようになり、終始富士山を背にする登りとなり八合目を過ぎる。大きな露岩を右手から巻くように登ると「富士山展望台」に出て、のびやかな朝霧高原の向こうに大きな富士山の姿が見える。天気は快晴で視界がよく、相模湾から伊豆半島まで見渡せ、皆さんから歓声上がる。

この先九合目の標識を過ぎると傾斜が緩み、ほんのひと登りで静岡・山梨県境をなす主稜線上

に登りつく。ここは地蔵峠コースへの分岐になっており、山頂へは右に進み針葉樹林の尾根道を行

く。すぐ先の西側露岩上に「北アルプス展望台」があり、展望台に上って北アルプスの展望を楽しむ。尾根上に戻り、最後に短くひとのぼりすると、一等三角点が置かれた毛無山山頂に着く。山頂は富士山側に開けた草原状で、明るく広々として富士山展望が素晴らしい。展望を楽しみ疲れを休めたら毛無山最高点を目指し、主稜線を東に辿る。毛無の名の通り木が少なく、主稜線上は随所に富士山側が開けており、爽快なパノラマ縦走を味わえる。



暖かい日差しを受け、富士山を見ながら歩くスカイラインは、急登を登ってきた人だけが堪能できるご褒美である。毛無山最高点は主稜線登山道から少し北側に入った所にあり、注意しながら歩かないと見過ごしてしまう。数メートル突起した小さなピークに、小さなプレートがあり記念写真を撮ったら来た道に戻る。少し戻ったところで TEL があり、3人が山頂に着いたとの連絡が入る。急いで山頂まで戻り、無事3人と合流し全員で記念写真を撮る。山頂南側の

展望が良い場所でランチタイムとし、定番のキノコうどんを作り赤飯のおにぎりいただく。雄大な富士山を目の前に見ながらのランチは格別で、皆さんが「美味しい」と言って食べていた。ランチが済んだら往路を戻って下山し、下山も2班に分かれて下山する。待ち合わせは道の駅「朝霧高原」にして、7名が先行して下ってゆく。露岩の急な下りは足への負担がかかり、皆さんとても疲れた様子。それでも無事登山口駐車場に戻り、靴を履き替えた後道の駅「朝霧高原」へ移動する。

50分後に下山したとの連絡があり、無事に合流してカトリア荘に向かう。

カトリア荘に着くと、本日の宿泊客は我々10名だけとのこと。

女将の配慮で密を避け女性は大部屋と10畳間に分かれ、男性は8畳間に2人である。早速入浴し、入浴が済んだら大部屋で反省会。今回の若手女性は飲める方が多く、ビールや八海山、ワインなどが次々に空いてゆく。会話が弾み、大いに飲みたいということで、早朝の大石公園散策は中止にして飲むことにする。お酒が空いたところで夕食になり、食堂に移動して宴会が続き大いに盛り上がった。部屋に戻ったら、そのまま布団に入り朝までぐっすり就寝できた。

1日:カトリア荘 7:37～三湖台登山口 7:40～三湖台 8:20/8:35～足和田山 9:30/9:50～紅葉台 10:40/10:55～三湖台 11:10～カトリア荘 11:30/12:20＝岩舟支所 P15:20

01日 晴れ 三湖台登山口から三湖台に登り、足和田山～紅葉台をピストンし登山口に下山。



2日目は三湖台登山口から足和田山をピストンで登る計画にした。朝の大石公園散策がないので、6時までゆっくり寝ることができた。おかげで昨夜のお酒も残ってなく、宿の朝食を美味しくいただくことができた。朝食の時間を少し早くしていただき、荷物をデポして予定より20分早く出発する。宿から歩き始めて3分で三湖台登山口に到着し、広い登山道を登ってゆく。尾根上に出ると松交じりの自然林を歩くようになり、紅葉が残っていて目を楽しませてくれ

る。やがて九十九折れの急な登山道になり、額に汗がにじむようになると広い台地に飛び出る。

三湖台の一角で、広い台地には東屋や展望テラスがあり、富士山はもとより南アルプスや御坂山塊、青木ヶ原樹海などが一望のもと見渡せる。東屋で休憩し、みかんを食べて衣服調整し、展望を楽しんだら足和田山に向かって出発する。今日も2班に分かれ、3名は後からのんびり登る予定。平坦な台地を南に進むと登山道に出て、東海自然歩道を左に進み足和田山に向かう。尾根上につけられた登山道と、南側に林道が並



行して伸びているが、往路は尾根上の登山道を歩いて行く。アカマツやミズナラ、モミなどの自然林の道を、アップダウンを繰り返しながらいくつものピークを緩やかに越えてゆく。大きな登りは無く、木々が美しい明るい山稜を歩く登山道はとても爽快に歩ける。樹間から富士山が見え隠れし、カエデの紅葉が日差しを受けとても美しい。紅葉や富士山が見えると立ち止まり、スマホに収めてなかなか先に進まない。自然林が美しい

緩やかなプロムナードが続き、ヒノキやツガの林を抜けると展望台が建つ足和田山山頂に着く。五湖台とも呼ばれる山頂は、富士五湖のすべてが見えるはずだが、ヒノキやツガの樹林ですべて



を見ることはできない。展望台に上ると、かろうじて3湖は見る頃ができた。ベンチでリンゴや菓子を食べていると3人が到着し、全員で記念写真を撮ってから休憩をとる。休憩したら往路を戻り下山する。下山は並行する林道を下ってゆき、アップダウンが少ないので景色を楽しむ余裕ができた。カエデの紅葉や、富士山の景色を楽しみながら下り、トイレに寄るため紅葉台まで行く。紅葉台は大勢の観光客で賑わっており、展望台へ400円払って登る。ここ

からの眺望も素晴らしく、富士山や南アルプスの山々、青木ヶ原樹海が遮るものなく見渡せる。

展望を楽しみ、トイレを済ませたら三湖台まで戻り、登山口へ向かって降りてゆく。我々の先に3人が下っており、後ろから声をかけて追いついてゆく。カトリア荘に着いたらデポした荷物をザックに詰め、予約しておいた昼食のカレーをいただく。私たちのために女将が作ってくれたカレーはとてもおいしく、サラダまで付いて500円では申し訳なく、感謝しながらいただいた。昼食をいただいたらトイレを済ませ、女将にお礼を言って帰路に着く。帰りは西湖北岸の道路を通り、河口湖の西側から国道139号線を通って河口湖 IC に入る。渋滞を避けるためカトリア荘に昼食を頼み、時短を図ったが談合坂 SA 付近で事故渋滞につかまった。幸いまだ起きたばかりの事故で、20分程度で脱出でき予定よりも早く岩船支所に帰着することができた。

